

表紙作品の公募について

東海国立大学機構環境報告書は、本機構の環境に関する幅広い取組を本機構の構成員はもちろん、中高生など若い世代や近隣地域にお住まいの方など多くの方に知っていただくことを目的として作成しています。表紙作品を岐阜大学と名古屋大学の児童・生徒・学生および教職員から公募し、多数の素晴らしい作品の応募が寄せられました。この取組により多くの方々にこの表紙を見て本報告書を読んでいただくことで、東海国立大学機構の教育や研究などを通じたさまざまな環境活動に興味を持っていただく機会となれば幸いです。今回ご応募いただいた皆様と、公募の周知にご協力いただいた皆様に心より感謝申し上げます。



表彰式の様子

大 賞



表紙掲載

名古屋大学 教育学部附属中学校1年

たかやま さゆり
高山 紗友梨 さん

愛知県と岐阜県の形を、それぞれの県の自然環境で表しました。白川郷やライチョウを中心とする岐阜の自然環境と、名古屋コーチンや東山動植物園のコアラなどの愛知の自然が、うしろの歯車のように支え合っているということを色えんぴつとマーカーで表現しました。

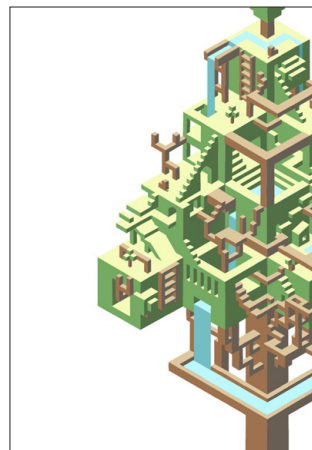
優 秀 賞

裏表紙掲載

岐阜大学 教育学部 美術教育講座3年

すずき せな
鈴木 星奈 さん

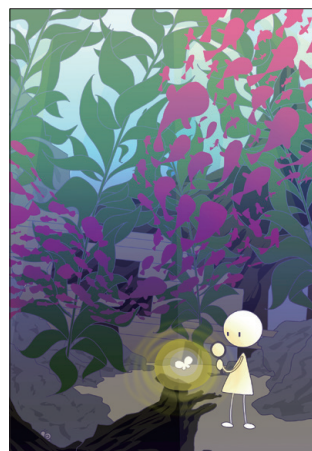
コンセプトは「ダンジョン」。大きな木をよく見てみると階段や道がさまざまな方向につながっており、思わず近くで見たくなるような、またはワクワクするような作品にしました。「環境」も一種のダンジョンであり、複雑な世界の一部に焦点を当てるからこそ得られるおもしろさに気付いてほしいという願いをこめています。



岐阜大学 教育学部 美術教育講座3年

あさの れいな
浅野 伶奈 さん

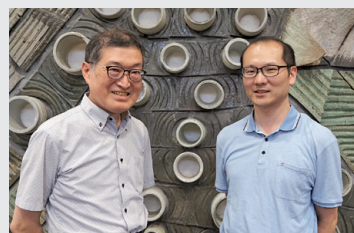
発見と観察をメインに、水中で光る蝶々を発見した小人を描きました。自然には深海や宇宙など、まだ解明されていない領域が多く残っています。未知の生き物や景色との出会いを想像しながら、さまざまな生き物が暮らす不思議な世界を表現しました。



編集後記

東海国立大学機構として6冊目の環境報告書を無事発行することができました。二大学からなる機構として作成するにあたり、ペーパーレスの時代に逆行するかもしれませんが「手に取って読んでもらえる環境報告書」を目指し、「コミュニケーションツールの一つ」として活用されることも目標に編集しました。昨年度発行の環境報告書は、(一社)サステナブルキャンパス推進協議会(CAS-Net JAPAN)年次大会2025において、「第1回サステナビリティレポートアワード奨励賞」を受賞し、高く評価していただくことができたこと、感謝しております。今回は航空宇宙生産技術開発センターで両大学の学生が自律滑空機を制作して競い合う東海クライマックスシリーズの紹介をしました。また、岐阜県立加納高等学校の探究学習の時間に環境報告書を紹介させていただき、両大学の学生と高校生との相互交流を進めることができました。日本特殊陶業(株)の皆さまには工場見学、意見交換の場を設定していただいたこと、発行直前となった8月6日に環境コミュニケーションを快くお引き受けくださった立命館大学の皆さまにも感謝しております。さらに、第三者評価を快諾してくださいました河合石灰工業(株)の木戸健二さま、巻末に編集に携わってくださった教職員、学生を記しましたが、この他にも執筆、意見交換など快く協力してくださいました学内外の多くの皆さまにも心より感謝申し上げます。編集を通して多くの方々が対話し、理解を深めることができたと思っています。この環境報告書が今後もコミュニケーションツールの一つとして活用されることを願っています。

(編集委員長 櫻田 修、副編集委員長 原田 敬章)



教員編集委員

編集委員長 岐阜大学工学部 教授	櫻田 修
副編集委員長 名古屋大学安全科学教育研究センター兼 環境安全衛生管理室 准教授	原田 敬章
岐阜大学	
統括環境管理責任者 応用生物科学部 教授	伊藤 健吾
副統括環境管理責任者 工学部 教授	新田 高洋
工学部 教授	小林 智尚
工学部 教授	大谷 具幸
応用生物科学部 教授	八代田 真人
名誉教授	長谷川 典彦
名古屋大学	
安全科学教育研究センター兼 環境安全衛生管理室 教授	富田 賢吾
安全科学教育研究センター兼 環境安全衛生管理室 准教授	山本 忍
安全科学教育研究センター 特任准教授	三輪 一爾
施設・環境計画推進室 教授	田中 英紀
農学部・生命農学研究科 教授	山崎 真理子
農学部・生命農学研究科 准教授	岩永 青史
未来社会創造機構脱炭素社会創造 センター 准教授	町田 洋
安全科学教育研究センター	角谷 純子

東海国立大学機構 施設統括部

次長	棧敷 晃弘*
次長	池口 敏夫
設備課 課長	杉本 裕康
設備課 課長補佐	森 浩之
参事	森 玲
設備課 電気第一係長	濱口 将希
設備課 機械第二係 係長	久保 賢太郎
環境安全課 課長	大場 亮
環境安全課 主幹	石原 光博
環境安全課 課長補佐	松野 晃三*
環境安全課 課長補佐	水谷 聡*
環境安全課 課長補佐	福井 依子
環境安全課 安全衛生係 係長	佐々木 充
環境安全課 安全衛生係 主任	鈴木 昇治
環境安全課 安全衛生係	小林 咲
環境安全課 安全衛生係	東 貞男*
環境安全課 安全衛生係	横山 未来
環境安全課 環境安全係 係長	高瀬 恵子
環境安全課 環境安全係 主任	矢崎 寛子*
環境安全課 環境安全係 主任	後藤 由季
環境安全課 環境安全係	井上 裕

* 2026年3月以前の在籍者

学生編集委員

岐阜大学

自然科学技術研究科 修士課程2年	池田 凜
自然科学技術研究科 修士課程2年	加賀 貴美子
自然科学技術研究科 修士課程2年	松本 太一
教育学研究科 修士課程1年	藤井 大輝
自然科学技術研究科 修士課程1年	岩島 大空
自然科学技術研究科 修士課程1年	尾崎 大雅
工学部4年	清水 真央 ※1
応用生物科学部4年	上井 ゆり子 ※2
応用生物科学部4年	前田 佳穂 ※2
社会システム経営学環4年	生田 悠姫
社会システム経営学環4年	日野 旭
社会システム経営学環4年	松前 開陸
地域科学部3年	栗本 歩里 ※3
地域科学部3年	杉浦 良太郎 ※4
地域科学部3年	高安 陽大 ※2
地域科学部3年	西脇 壮洛 ※4
工学部3年	小野寺 澄珠 ※2
応用生物科学部3年	伊藤 優芽 ※2
応用生物科学部3年	今井 結愛 ※3
応用生物科学部3年	岩本 侃大 ※3
応用生物科学部3年	澤村 葵 ※2
応用生物科学部3年	関原 雫 ※2
教育学部2年	宮崎 愛望 ※4
地域科学部2年	岡部 陽日 ※2
工学部2年	原田 康之介 ※4
応用生物科学部2年	高谷 昂希 ※2
応用生物科学部2年	長尾 知香 ※2
応用生物科学部2年	西坂 優 ※2
工学部1年	加藤 大智 ※2
応用生物科学部1年	横井 幹子

名古屋大学

工学研究科 博士前期課程2年	中木 翔太
工学研究科 博士前期課程1年	俵木 大輝 ※5
生命農学研究科 博士前期課程1年	草間 美咲
農学部4年	川瀬 菊清貴 ※6
経済学部3年	奥村 友為 ※6
理学部3年	諏訪 孝弘 ※7
教育学部2年	吉田 響 ※7
理学部2年	後関 将仁 ※7
理学部2年	島尾 悠寿 ※6
理学部2年	毛利 文乃 ※7
工学部2年	田中 陽平 ※7
農学部2年	曾我 百恵 ※6
農学部2年	南 佑奈 ※6
教育学部1年	小野寺 咲妃 ※6
農学部1年	可児島 稟彩 ※6
農学部1年	早川 良美 ※6

※1 岐阜大学防災サークルたすく所属

※2 岐阜大学環境サークル G-amet所属

※3 岐阜大学 里山暮らし応援隊所属

※4 岐阜大学生協学生委員会(GI)所属

※5 名古屋大学フォーミュラチームFEM 所属

※6 環境サークル Song of Earth所属

※7 名大祭実行委員会 環境対策部所属

問合せ先

国立大学法人東海国立大学機構 施設統括部環境安全課
〒464-8601 愛知県名古屋市千種区不老町
E-mail: e-report@t.thers.ac.jp
TEL: 058-293-2118 (岐阜大学) 052-789-2116 (名古屋大学)

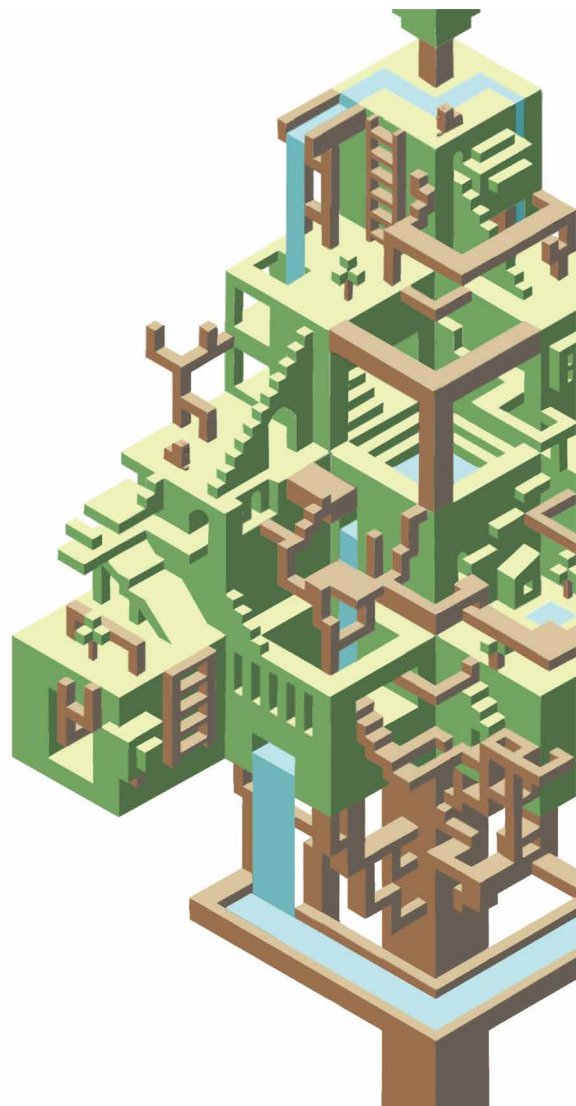
印刷・デザイン サンメッセ株式会社

国立大学法人東海国立大学機構

<https://www.thers.ac.jp/about/publications/environmental/index.html>



本書掲載記事の無断転載・複製を禁じる



環境に配慮した植物油
インキを使用しています。